

治療方針シート①

記載日

年 月 日

このシートは、治療方針を決めるにあたり患者さんご家族、医療者が、価値観や治療目標を共有するためのものです。病気や治療について医師から聞いたことを書き出し、現状の整理にご活用ください。

がんと診断された時の状態を書き留めましょう。

診断日 年 月 日

- がんの種類 _____ ステージ ☐ I ☐ II ☐ III ☐ IV
- リンパ節への転移 ☐ あり ☐ なし ● 他の臓器への転移 ☐ あり ☐ なし
- 受けた検査と結果

検査	結果
例) MRI	周囲リンパ節への転移あり

医師から受けた説明を書き留めましょう。



治療方針シート②

監修：京都大学大学院 医学研究科
社会健康医学系専攻 健康情報学分野
教授 中山 健夫 先生
※ご所属・肩書は作成当時（2026年5月）のものです。

治療のメリットとデメリット

治療選択肢	メリット	デメリット	費用の負担
例) 抗がん剤	がんに対して広く攻撃できる	副作用(脱毛・吐き気)	☒ 低 ☐ 中 ☐ 高
			☐ 低 ☐ 中 ☐ 高
			☐ 低 ☐ 中 ☐ 高
			☐ 低 ☐ 中 ☐ 高
			☐ 低 ☐ 中 ☐ 高
			☐ 低 ☐ 中 ☐ 高

医師から提示された治療選択肢を書いて、選択したものを赤で囲みましょう。

説明を聞いて疑問に思ったことや不安に思ったこと

コラム

不安に振り回されないように、情報との正しい向き合い方

がんの治療をインターネットで検索すると、膨大な量の情報が見つかります。しかし、その膨大な情報の中には、標準治療（現在の最良の治療法）と認められていないものも含まれています。何が正しい情報かを見極めるためにも、心を落ち着け、冷静に判断する必要があります。がんに係わる専門家たちが所属する「学会」が出している情報や、がんの専門病院が運営しているウェブサイトの情報など、標準治療がしっかりと記載されている、信頼できる情報源を選びましょう。そして、迷った場合は、主治医や医療従事者、がん相談支援センターに相談し、お勧めのサイト等を紹介してもらうのも一つの方法です。